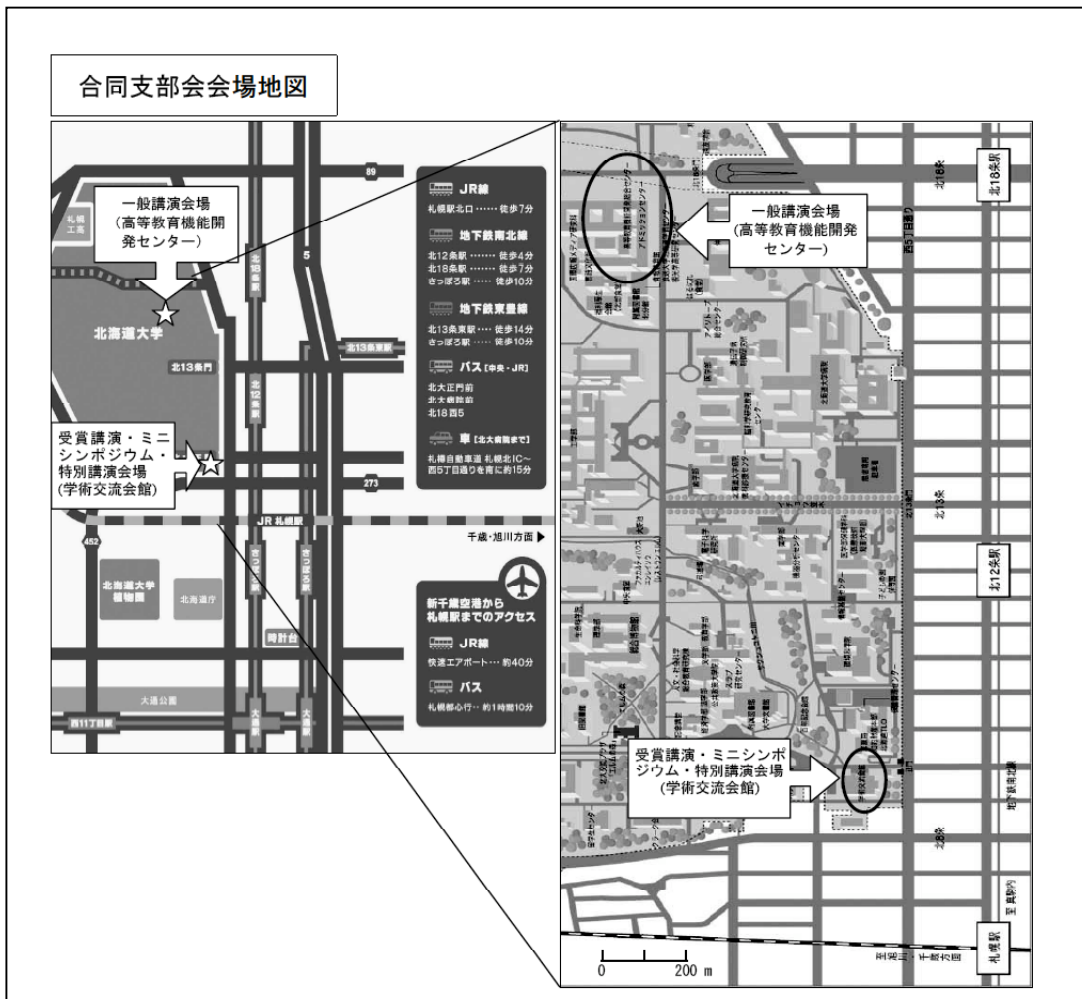


**北海道大学学術交流会館（シンポジウム会場）、
北海道大学高等教育機能開発総合センター（一般講演会場）
および
サッポロビール園（懇親会場）へのアクセス**

JR もしくは地下鉄札幌駅到着後、JR 札幌駅北口へお進み下さい。北海道大学学術交流会館までは北大正門（北 8 条西 5 丁目）より入って左手直ぐ（駅北口より徒歩、約 5 分）です。また、一般講演会場となります高等教育機能開発総合センター（北 17 条西 8 丁目）は 1 日目の会場から徒歩 15 分、もしくは市営地下鉄南北線 18 条駅より徒歩 7 分です。下記、位置図をご参照下さい。懇親会会場となるサッポロビール園へは、学術交流会館より無料送迎バスが出ますので、ご利用下さい。タクシーで北大正門から懇親会会場に向かう場合、900 円程度の料金がかかります。

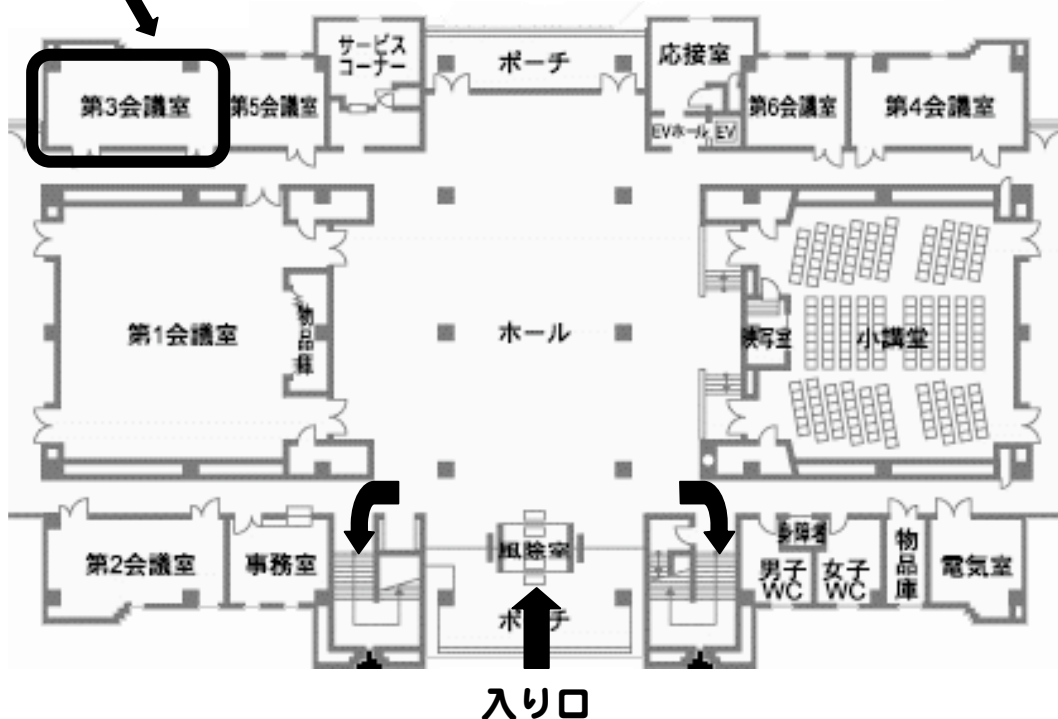


学術交流会館 2F 会場



東北支部
評議会会場

学術交流会館 1F 見取り図



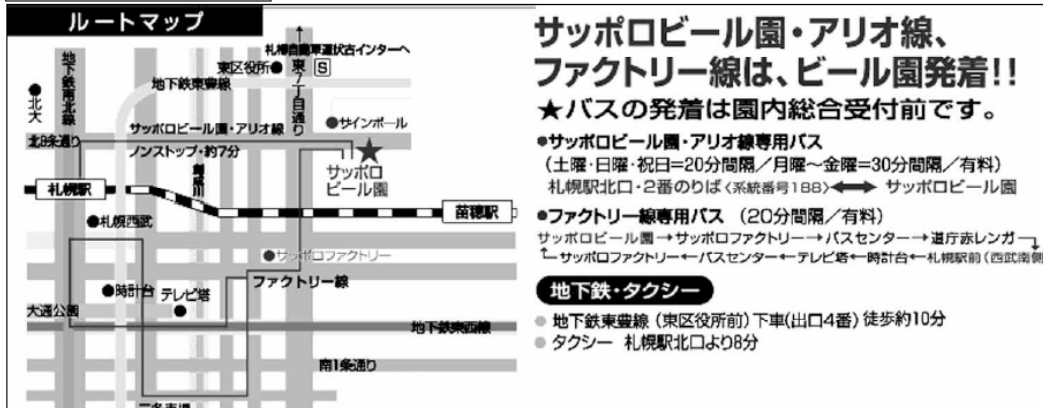
高等教育機能開発総合センター (一般講演会場)

2F見取り図



1F正面玄関 ↑

懇親会会場地図



平成18年度 日本農芸化学会北海道支部・東北支部合同支部会日程

【11月11日(土)】於北海道大学学術交流会館 大講堂

- ・ 東北支部、支部会員奨励賞授賞式 (10:20~10:30)

石黒貴寛 (岩手大院連農)

「大豆中フィチンの迅速定量法の開発およびその豆腐品質への影響」

大崎雄介 (東北大院農)

「遺伝子発現の網羅的解析手法を用いたビタミン K の新規機能の解明」

中村葉子 (東北大院理)

「エナンチオ・ディファレンシャル分子プローブ法によるネムノキ就眠運動の生物有機化学」

- ・ 東北支部、支部会員奨励賞受賞者講演 (10:30~11:45) (3件、各20分)

- ・ 東北支部評議会 (11:45~12:55) (学術交流会館、1F第3会議室)

- ・ 北海道支部・支部活動中間報告会 (11:45~12:15) (学術交流会館、大講堂)

- ・ ミニシンポジウム「クオルモンを利用した病原制御の最前線」 (13:00)

進行役: 橋床泰之 (北大院農)

(基調講演)

篠原 信 (農水省野菜茶業研) (13:05~13:45)

「病原細菌を情報攪乱する技術 ~クオラム・センシングの可能性~」

(話題提供)

1) 瀬戸義哉 (北大院農) (13:45~14:00)

「Diketopiperazineによる *Cladosporium phlei* の植物毒素 phleochrome 生産の誘導」

2) Abhinandan Deora (北大院農) (14:00~14:15)

「 γ -Lactone derivatives produced by *Pseudomonas jessenii* strain EC-S101 as cross-kingdom cross-talk signals」

(休憩5分)

3) 春日 和、佐々木玲、小嶋郁夫 (秋田県立大・生物資料) (14:20~14:35)

「*Streptomyces* 属放線菌の物質生産・形態分化と RNA ポリメラーゼ ω サブユニット遺伝子 *rpoZ* との関連」

4) 森川正章 (北大院地球環境・環境分子生物) (14:35~14:50)

「枯草菌のバイオフィルム形成に関わる遺伝子と分子」

5) 福島 淳 (秋田県立大・生物資料) (14:50~15:05)

「*Pseudomonas aeruginosa* におけるクオルモンの役割と感染防御への利用の可能性」
総合討論 (15:05~15:15)

(休憩 5 分)

・ **特別講演**

草野友延 (東北大院生命科)「低分子量 bZIP 型転写因子を過剰発現した植物の乾燥耐性機構」

座長: 今井亮三 (北農研セ) (15:20~16:05)

波多野隆介氏(北大院農)「地球温暖化にどう対処するか?」

座長: 小池孝良 (北大院農) (16:05~16:50)

・ **懇親会** (18:00 より、100 分コース)

場 所 : サッポロビール園 (札幌市東区北8条東9丁目、Tel 011-731-4368)

参加費 : 一般 4000 円、学生 2000 円 (17:30 頃、学術交流会館前から送迎バスが出ます)

【11月12日(日)】 高等教育機能開発研究センター N 棟

(会場へは、正面玄関を入れて右手直ぐの階段を2Fへお上がり下さい。案内表示に従って、お進み下さい。)

・ **一般講演** (9:00~13:00)

講演様式 : Power Point (OHP 対応可)、パワーポイントファイルは Windows XP を OS とした、Power Point version 2003 で作動することを確認しておいて下さい。可能な限り、1日目の11月11日(土)に受け付けにて、USB 対応メモリースティックで各自持参したファイルを、支部で会場毎に用意しましたノートパソコンにコピーして下さい。ここで、最終的な作動確認を行うことができます。

講演時間 : 発表10分、討論2分

座長の先生方は時間進行の厳守をお願い致します。所属は略式名称、演者紹介は発表者のみ紹介して下さい。

・ **21世紀 COE プログラム「海洋生命統御による食糧生産の革新」(北海道大学)**

合同発表会:(10:48~12:48)

E 会場にて、合同支部会の一般講演の一部として行います。

・ **東北支部活動報告会** (13:15~)

【11月12日(日)~13日(月)】

・ **北海道・東北支部若手シンポジウム** (於洞爺湖畔、ホテルトーヤ) ホームページ参照のこと。

一般講演プログラム

A 会場（食品・動物）N302

（座長：長澤孝志・岩手大）

- 9:00 A-1) イミダゾ[1,5-a]ピリジン骨格を有する化合物の抗癌活性について
○山口 陽¹、西川耕司¹、土屋英子²、芝原文利³、村井利昭³、木村賢一¹
（¹岩手大院・農、²広島大院先端物質、³岐阜大・工・応用化学）
- 9:12 A-2) 共役リノール酸（CLA）の肝癌細胞増殖抑制作用とペルオキシソーム増殖因子活性化受容体（PPAR）の関係
○都築 毅¹、宮澤陽夫²（¹宮城大食産業、²東北大院農）
- 9:24 A-3) トコトリエノールの腫瘍由来血管新生に対する阻害効果とその機構解析
○柴田 央、仲川清隆、宮澤陽夫（東北大院農・機能分子解析）
- 9:36 A-4) リンゴ鹿角霊芝（antler-shaped fruiting body of *Ganoderma lucidum* from Apple's tree pruning）の水溶性画分おけるがん細胞株の増殖抑制効果について
○佐々木文之、片方陽太郎（弘前大・農生・応生）

（座長：石塚 敏・北大）

- 9:48 A-5) ヒトマクロファージ様細胞を用いたビタミンKによるインターロイキン-6 発現抑制機構の解析
○大崎雄介、白川 仁、駒井三千夫（東北大・院農・栄養学）
- 10:00 A-6) 摂食タイミングによる骨格筋タンパク質の分解と合成の調節
○井口慎平、伊藤芳明、西澤直行、長澤孝志（岩手大・農・生命）
- 10:12 A-7) ビタミンKが精巣におけるテストステロン合成に与える影響について
工 直史、大崎雄介、○白川 仁、駒井三千夫（東北大・院農・栄養学）
- 10:24 A-8) Effect of protein source on chronic ethanol induced liver injury.
○Puspo Edi Giriwono、Takuya Hashimoto、Hitoshi Shirakawa、Michio Komai.
（Lab. Nutrition, Graduate School of Agricultural Sciences, Tohoku Univ.）

（座長：仲川清隆・東北大）

- 10:36 A-9) 食事由来オキシステロールの脂質代謝および抗酸化機能攪乱作用
○藤兼洋一¹、長田恭一¹、菅野道廣²（¹弘前大学・農学生命、²九州大学院・農）
- 10:48 A-10) スクアレンおよびスクアレン＋トコトリエノール投与による肝機能保護作用
○藤田恵子¹、斉藤三季¹、長田恭一¹、手島康雄²
（¹弘前大学・農学生命、²ユニテックメディカル）

11:00 A-11) ラットにおけるケルセチンとイソフラボンの腸管吸収に対する食品レクチンの影響
○森 敦史¹、新岡容子²、大和田修一³、永沼孝子¹、小川智久¹、村本光二¹
(¹東北大院・生命科学、²東北大農、³東北大院農)

(座長：園山 慶・北大)

11:12 A-12) 茶カテキンの吸収・代謝に及ぼすカフェイン摂取の影響
○中村美穂¹、仲川清隆¹、中山賀代子¹、新納仁²、角田隆巳²、宮澤陽夫¹
(¹東北大院農、²伊藤園・中央研)

11:24 A-13) 高脂肪食投与ラットにおけるワイン圧搾滓抽出物の抗高脂血症効果
○佐々木岳、柚木恵太、得字圭彦、木下幹朗、間 和彦¹、内藤彰彦²、大西正男
(帯畜大・畜産科学、¹日本製粉・中研、²池田町ブドウ・ブドウ酒研)

11:36 A-14) マウス Ehrlich 結節腫瘍に対するスイートコーンの増殖抑制効果
○得字圭彦¹、秋山恭子¹、柚木恵太¹、木下幹朗¹、小林仁司²、和田政裕³、大西正男¹
(¹帯広畜産大学・畜産生命、²日本缶詰、³城西大学・薬)

(座長：福島道広・帯広畜大)

11:48 A-15) ラット消化管粘膜でのリンパ球局在に關与するケモカインの探索と発現定量
○鎌田 咲、石塚 敏、原 博 (北海道大学大学院農学院・応用生物科学専攻)

12:00 A-16) 甜菜繊維摂取による WKAH ラットの腸上皮間リンパ球の局在変化は小腸で顕著にみられる
○高見有里、石塚 敏、原 博 (北大院農・応生科)

12:12 A-17) 異なる品種の米を摂取させたマウスの腸内細菌叢の比較
○小笠原達¹、本間翔平¹、藤原麗子¹、渡辺 純²、柳原哲司³、徳永善也⁴、園山 慶¹
(¹北大院・農・応生科、²北大創成研、³道立上川農試、⁴千野米穀店)

12:24 A-18) FCM を用いたマウス糞便中真菌の生菌数の計数
○梅田智里¹、三木篤子²、渡辺 純³、園山 慶¹
(¹北大院・農・応生科、²北大院・生命科学、³北大創成研)

B 会場（微生物）N304

（座長：中西秀樹・産業技術研）

- 9:00 B-1) D-threo-3-ヒドロキシアスパラギン酸デヒドラターゼの探索および精製
○前田隆行、横田 篤、和田 大（北大院農・応生科）
- 9:12 B-2) 大腸菌の H⁺-ATPase 欠損変異株を利用したアラニン発酵
○成田琴美、和田 大、横田 篤（北大院農・応生科）
- 9:24 B-3) *Corynebacterium glutamicum* の H⁺-ATPase 活性低下変異株によるバリン発酵
○土方野分、和田 大、横田 篤（北大院農・応生科）
- 9:36 B-4) コーンコブ加水分解液を用いた流加培養によるキシリトール生産
○多田清志、荻野享太、菅野 亨、堀内淳一（北見工大）
- 9:48 B-5) *Stereum purpureum* 由来エンドポリガラクトナーゼ IV 遺伝子の¹大腸菌と酵母での発現と組み換え酵素の精製および性質
○大木肇¹、清水哲哉²、奥野智旦³、宮入一夫¹
（¹弘前大農生、²理研播磨、³秋田看福大）

（座長：玖村朗人・北大）

- 10:00 B-6) ヒト糞便から新規二次胆汁酸生成菌の分離と同定および取得株 *Bacteroides intestinalis* AM-1 の二次胆汁酸生成能について
○荒田美紀、吹谷 智、和田大、伊藤喜久治*、横田 篤
（北大院農・応生科、*東大院農）
- 10:12 B-7) 麦稈水熱分解物を用いた *Rhizopus oryzae* の発酵条件の検討
○波佐康弘¹、斎藤勝一¹、橋本直人¹、上原良介²、源田 稔²、坂木 剛³、佐々木満⁴、後藤元信⁴
（¹農研機構・北農研、²三菱重工・神戸造船所、³産総研・九州セ、⁴熊本大・工）
- 10:24 B-8) *Arthrobacter psychrolactophilus* F2 株由来低温性 β-ガラクトシダーゼの諸性質とその応用
○中川智行、池端諒子、宮地竜郎、冨塚 登（東京農大・生物産業・食科）
- 10:36 B-9) プロバイオティック乳酸菌 *Lactobacillus gasserii* のラクトース資化系酵素の精製と特性解析
○本田洋之¹、長岡誠二²、川井 泰¹、北澤春樹¹、舘野義男³、山崎由紀子³、斎藤忠夫¹
（¹東北大院農・動物資源化学分野、²明治乳業(株)、³国立遺伝学研究所）

(座長：和田 大・北大)

- 10:48 B-10) 麹カビ (*Aspergillus oryzae*) 由来 Yaestcidin の諸性質
○松井 聡¹、穂坂 賢²、妙田貴生¹、永井 毅¹、永島俊夫¹
(¹東京農大・生物産業・食品科学、²東京農大・生物産業・醸造)
- 11:00 B-11) 出芽酵母 *S. cerevisiae* のプロスポア膜形成時におけるホスホリパーゼ D の働き
○中西秀樹¹、Masayo Morishita²、Cindi L. Schwartz³、Alison Coluccio¹、JoAnne Engebrecht²、Aaron M. Neiman¹
(¹SUNY Stony Brook (現所属; 産業技術総合研究所)、²UC Davis、³University of Colorado)
- 11:12 B-12) 植物病原性細菌 *Erwinia carotovora* Er 株における carotovoricin の産生制御機構の解析
○山田和輝、金子 淳、伊藤義文、神尾好是 (東北大院生命科学)
- 11:24 B-13) *Aspergillus niger* の菌体反応で *N*α-benzyloxycarbonyl-L-aminoadipic-δ-semialdehyde を *N*α-benzyloxycarbonyl-L-aminoadipic acid に変換する酵素の諸性質
○磯部公安、石倉和菜 (岩手大農)
- 11:36 B-14) ゲル包括法によるエゾシカルーメン微生物の固定化培養の試みとタンニン酸代謝能の検討
○日裏雄史、橋床泰之、小林泰男、田原哲士 (北大院農)

(座長：江澤辰広・北大)

- 11:48 B-15) 軽油汚染土壌マイクロコズムから単離された内在性菌およびその利用について
○上野晃生¹、伊藤征也²、山本祐輔²、湯本 勳³、奥山英登志¹
(¹北大院・地球環境、²(株)ロム、³AIST ゲノムファクトリー)
- 12:00 B-16) タービン油分解菌群の集積と性質
伊藤 仁^{1,現3}、○細川玲亜^{1,2}、奥山英登志^{1,2}
(¹北大院地球環境、²北大理、³サラヤ(株))
- 12:12 B-17) 東シベリア永久凍土地帯のカラマツ・コケモモ林においてコケモモ (*Vaccinium vitis-idaea* L.) が土壌中の単生窒素固定細菌群集の窒素固定に及ぼす影響
○原新太郎¹、大地智也¹、橋床泰之²、ロマン デスヤトキン³、波多野隆介²、田原哲士²
(¹北大農、²北大院農、³シベリア寒地圏生物研)
- 12:24 B-18) ソテツのサンゴ状根内部に内生するバクテリアの検索とその機能性の検討
○村田佳菜子、橋床泰之、田原哲士 (北大院農)

C 会場（生理活性物質・有機合成）N281

（座長：橋本 誠・帯広畜大）

- 9:00 C-1) カウピー根部より溶出されるストライガ種子発芽促進物質
大橋くみ子²、○笹子浩史¹、松浦英幸²、吉原照彦²、鍋田憲助²
(¹北大農、²北大院農)
- 9:12 C-2) ホウレンソウの抽だいを制御する内生因子に関する研究
○竹本成孝¹、吉田祐子²、橋本 勝¹、幸田泰則³、高田 晃¹
(¹弘前大農生、²近中四農研、³北大院農)
- 9:24 C-3) タマネギの鱗茎形成を阻害する内生因子に関する研究
○鍋木一正¹、松塚祐樹²、望月達史²、斉藤 新³、橋本 勝¹、幸田泰則²、高田 晃¹
(¹弘前大農生、¹北大院農、¹野茶研)
- 9:36 C-4) ネムノキの就眠運動をコントロールする生理活性物質とその生物有機化学的研究
○中村葉子¹、宮武良至¹、松原 輝¹、清田洋正²、上田 実¹
(¹東北大院理、²東北大院農)
- 9:48 C-5) ハエトリソウにおける「記憶」現象の天然物化学的研究
○岡田正弘、南部浩孝、小関不比等、徳永隆司、上田 実（東北大院理）

（座長：松浦英幸・北大）

- 10:00 C-6) *Lambertella* sp. 1346 が低温下で生産する新規代謝物について
○村上貴宣¹、高田 晃¹、奥野智旦²、橋本 勝¹ (¹弘大農生、²秋看大)
- 10:12 C-7) 海岸流木より分離された *Fusarium* sp. FH-146 株の生産する抗菌活性物質フサピロン類について
○宮島岳史、平松史紀、村山哲也、小関卓也、塩野義人
(山形大・農・生物資源)
- 10:24 C-8) スギエダタケ (*Strobilurus ohshimae*) から分離されたセスキテルペン strobilol 類について
○平松史紀、村山哲也、小関卓也、塩野義人（山形大・農・生物資源）
- 10:36 C-9) アカマツに含まれる Ca²⁺シグナル伝達阻害物質の単離精製と生物活性
○斉藤圭一¹、越野広雪²、玉山覚子¹、小藤田久義¹、宮川都吉³、木村賢一¹
(¹岩手大院・農、²理研、³広島大院・先端研)
- 10:48 C-10) カビの一種 Sterile Dark が生産する抗菌性芳香族ポリケチドの合成研究
○加藤直人、中畑 崇、桑原重文（東北大院農・生物産業創成）

(座長：橋本 勝・弘前大)

- 11:00 C-11) Wilkinson 触媒を用いた Trifluoromethylphenyldiazirine 化合物中の C=C 二重結合の選択的還元
○加藤悠飛、橋本 誠 (帯広畜産大)
- 11:12 C-12) カルボニル α 水素を利用した安定同位体標識光反応性基の合成
○高橋美帆、橋本 誠 (帯広畜産大)
- 11:24 C-13) TfOH を利用した効率的 Friedel-Crafts 反応の検討-1 酸無水物を利用した立体選択的ホモフェニルアラニン誘導体の合成
○村重 諒、橋本 誠 (帯広畜産大)
- 11:36 C-14) TfOH を利用した効率的 Friedel-Crafts 反応の検討-2 酸クロライドを用いたホモフェニルアラニンの効率的な不斉合成
○林 由佳、橋本 誠 (帯広畜産大)

(座長：福士幸治・北大)

- 11:48 C-15) 抗腫瘍性物質 SW-163 の絶対配置の決定
○中谷美乃¹、大栗博毅¹、高橋公咲²、渡辺賢二³、及川英秋¹
(¹北大院理、²北大院農、³南カリフォルニア大)
- 12:00 C-16) 抗ストレス性潰瘍物質 AI-77-B の合成研究
○榎本 賢、桑原重文 (東北大院農・生物産業創成)
- 12:12 C-17) トリガラクトロン酸メチルグリコシドの合成研究
○佐藤 佑、山本和範、宮入一夫、橋本 勝 (弘前大農生)
- 12:24 C-18) *endo*-PG 1 の反応機構解明を目指した遷移状態アナログの合成
○山本和範¹、橋本 勝¹、奥野智旦² (¹弘前大農生、²秋看大)

D 会場（植物） N282

（座長：高田 晃・弘前大）

- 9 :12 D-1) サリチル酸類、ジャスモン酸類の同時分析法の開発
○松浦英幸、増田 税、鍋田憲助（北大院農）
- 9 :00 D-2) ササゲ(*Vigna unguiculata*) 種子へのセオプロキシド処理効果の検討
○葵 新¹、松浦英幸²、崎浜靖子²、鍋田憲助²、増田 税²
(¹北大農、²北大院農)
- 9 :24 D-3) ChIP-chip 法を用いたアクチン関連タンパク質 Arp5 の機能解析
○尾間由佳子¹、久郷和人²、太田邦史²、原田昌彦¹
(¹東北大院農、²理化学研究所)
- 9 :36 D-4) コーヒー7-メチルキサンチンシンターゼの基質特異性に関する領域の解析
○水野幸一¹、齋藤健一¹、黒澤辰一¹、吉澤結子¹、室伏 旭¹、加藤美砂子²
(¹秋田県立大・生物資源、²お茶の水大・院・人間文化)

（座長：五十嵐喜治・山形大）

- 9 :48 D-5) 種子島産植物起源の α -アミラーゼ阻害活性成分
○山元大輔¹、香月茂樹²、細川敬三³、川端 潤¹
(¹北大院農・応生科、²基盤研薬植セ・種子島、³兵庫大保健科)
- 10 :00 D-6) コデマリ (*Spiraea cantoniensis*) 中のマルターゼ阻害活性成分(3)
○吉田香織¹、菱田敦之²、飯田 修²、細川敬三³、川端 潤¹
(¹北大院農・応生科、²基礎研薬植セ・筑波、³兵庫大健康科)
- 10 :12 D-7) フェノールカルボン酸類のラジカル消去機構 (27) -水溶性ジスルホ DPPH ラジカルの反応の検討-
○深見麻里江、坂本英明、川端 潤（北大院農・応用生命・食品科学）
- 10 :24 D-8) イタリア野菜プンタレラ (*Asparagus Chicory*) に含まれるセスキテルペン類
○小関良卓¹、佐々木丈夫²、菰田俊一¹
(¹宮城大食産、²宮城県農園研)
- 10 :36 D-9) 北方小果実アロニアのポリフェノール成分の探索と生体内抗酸化活性に関する研究
○佐藤浩志、西村弘行（北海道東海大院）

(座長：崎浜靖子・北大)

- 10:48 D-10) シロイヌナズナの低温ショックドメインタンパク質の組織および細胞内局在の解析
○佐々木健太郎、金 明姫、今井亮三 (北海道農業研究センター)
- 11:00 D-11) 穂ばらみ期イネにおける低温応答のトランスクリプトーム解析
○加藤英樹、佐藤 裕、今井亮三 (農研機構・北農研)
- 11:12 D-12) ポリアミンは植物の耐病性機構に関与する
○高橋芳弘、草野友延 (東北大院生命科学)

(座長：福士江里・北大)

- 11:24 D-13) クラブアップル果実エキスに含まれる前駆脂肪細胞に対する脂肪蓄積抑制物質の研究
○岡田真理子、吉澤結子、桜井健二、室伏 旭
(秋田県立大院・生物資源)
- 11:36 D-14) アップルペクチンから酵素分解と酸加熱分解により製造されたペクチンオリゴ糖の性状
○土岐幸子¹、瀧川とも美²、塩谷敏明²、奥野智旦³、宮入一夫¹
(¹弘前大農生、²ユニテックフーズ(株)、³秋田看福大)
- 11:48 D-15) ヒト血中脂質ハイドロパーオキシドのMS/MSによる高感度分析
○指宿大悟、仲川清隆、宮澤陽夫 (東北大院農・機能分子解析)
- 12:00 D-16) LC-MS/MSによるヒト赤血球のアマリド型糖化リン脂質の存在の証明
○仲川清隆¹、庄子真樹^{1,2}、宮澤陽夫¹ (¹東北大院農、²宮城県産業技術総合センター)

E 会場（食品機能＋水産 COE）N283

（座長：中村 正・帯広畜大）

- 9:00 E-1) 乳中における *Lactobacillus gasseri* の生育性獲得とバクテリオシン生産
○荒川健佑、川井 泰、北澤春樹、齋藤忠夫（東北大院農）
- 9:12 E-2) 発酵性乳製品由来の酵母の菌体成分がマウス由来脾臓細胞の IgE 産生に及ぼす影響
○岩瀬初音、玖村朗人、島崎敬一（北大院農）
- 9:24 E-3) 親和性を利用したラクトフェリン結合物質の検索とその特性
○大戸絵里子、玖村朗人、島崎敬一（北大院農）
- 9:36 E-4) 大豆品種間の栄養機能性成分レベルの違い
○佐藤紘毅¹、長田恭一¹、森川裕明²（¹弘前大学・農学生命、²サニーヘルス）
- 9:48 E-5) 豆乳中フィチンの豆腐カード形成時におけるタンパク質への結合、およびカード物性への影響
○石黒貴寛、小野伴忠（岩手大院連農・生物資源）

（座長：長田恭一・弘前大）

- 10:00 E-6) 鶏卵殻膜中酵素のペプチドおよび非ペプチド性アミンに対する反応
○青木朋子¹、佐々木大介¹、赤川 貢²、須山享三³、山下まり¹
（¹東北大院・農、²大阪府大院・生命環境科学、³仙台大院・スポーツ科学）
- 10:12 E-7) 雑穀に含まれる不飽和脂肪酸とヒストンデアセチラーゼ阻害活性
○油井信弘、西澤直行、木村賢一（岩手大院・農・農生科）
- 10:24 E-8) マベガイ外套膜に存在するジャカリン様レクチンの多様な構造と機能
○佐藤理恵¹、小川智久^{1, 2}、永沼孝子^{1, 2}、星野 亘¹、尾定 誠^{2, 3}、吉見享祐^{2, 4}、村本光二¹
（¹東北大院生命、²東北大学際センター、³東北大院農、⁴東北大院環境）
- 10:36 E-9) アナゴガレクチン Congerin II をタグとした融合タンパク質発現系の新規構築と毒タンパク質発現への応用
○瀬戸美苗¹、小川智久¹、村本光二¹、酒井康夫²、金山徳孝²、大野素徳³
（¹東北大院生命科学、²(株)ゼライス、³崇城大・生物生命）

水産 COE プログラム・合同発表会 (E 会場 N283)

(座長：奥山正幸・北大)

- 10:48 COE-1) フコキサンチンによる肝臓脂質中の DHA 生合成促進効果
○津久井隆行、今野賢亮、前多隼人、細川雅史、宮下和夫 (北大院水)
- 11:00 COE-2) 高度不飽和リン脂質の抗炎症作用
○深津裕美子・細川雅史・宮下和夫 (北大院水)
- 11:12 COE-3) 海藻由来プロスタグランジンの質量分析
○鈴木伸哉, 楠原史朗, 板橋 豊, 伏谷伸宏 (北大院水)
- 11:24 COE-4) 軟体動物アルギン酸リアーゼの基本性状と褐藻プロトプラスト作出への利用
○尾島孝男、井上 晶 (北大院・水産)

(座長：金 完燮・北大)

- 11:36 COE-5) ホタテガイ閉殻筋に存在するイオン要求性 α -glucosidase の構造と機能
○中井博之¹、飯塚貴久¹、奥山正幸¹、森 春英¹、奈良岡哲志²、千葉誠哉¹、木村淳夫¹
(¹北大院農、²青森県工業総合研究センター)
- 11:48 COE-6) シジミ (*Corbicula japonica*) 抽出液から分離精製されたオルニチン含有新規トリペプチド (β -Ala-Orn-Orn)
○内沢秀光^{1,2}、奈良岡哲志¹、小野伴忠² (¹青森県工総研セ、²岩大院連農)
- 12:00 COE-7) マダイ鱗コラーゲンの性状
○副田麻衣子、福永重治、中村富美男 (北大院農)

(座長：中井博之・北大)

- 12:12 COE-8) ELISA 系による食品における残留キノロン剤高感度測定技術の開発
○井原義治、加藤美穂子、小平 司、島崎 敬一¹ (フロンティア研、¹北大・院・農)
- 12:24 COE-9) 化学発光法を用いた水圏微生物の増殖に対するウシラクトフェリンの抗菌効果測定
○柳澤壮太¹、金 完燮^{1,2}、玖村朗人¹、島崎敬一¹ (¹北大院農、²北大水産 COE)
- 12:36 COE-10) ウグイの腸内細菌が分泌する有用タンパク質に関する研究
○金 完燮^{1,2}、島崎敬一² (¹北大水産 COE、²北大院農)